



ON



YOUR



SIDE



REPORT

## ON YOUR SIDE REPORT 2018.9

京都中央信用金庫の現況 2018年度上半期(平成30年4月1日から9月30日)における経営情報を開示いたします

最も信頼され、  
お役に立つ金融機関を  
目指して



理事長

白波瀬 誠

平素は京都中央信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくため、平成30年度上半期のディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

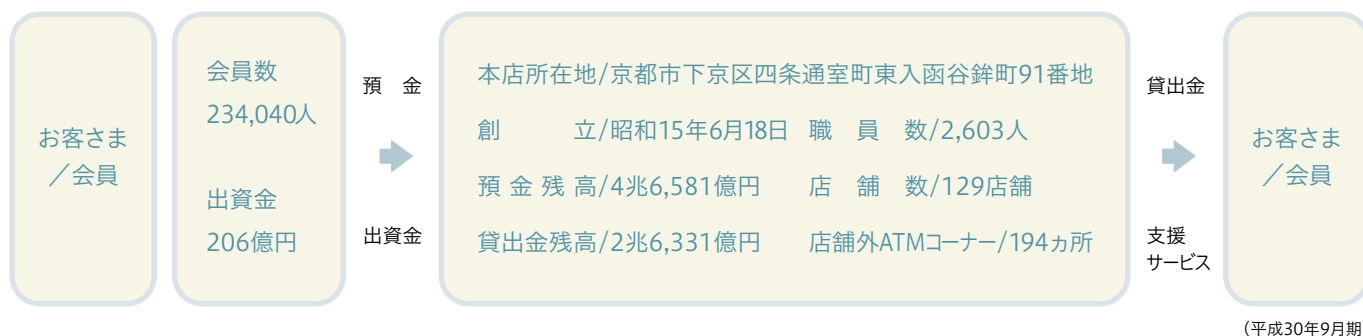
当金庫の平成30年9月期の業績は、みなさまのお蔭をもちまして、預金積金が4兆6,581億円、貸出金が2兆6,331億円を超え、当期純利益61億円と順調に推移することができました。

店舗計画では、来秋の完成に向けて太秦支店の新築建替えを進めております。

これからも当金庫は本業支援に基づく金融仲介機能を発揮し、地域経済活性化に積極的に取り組んでまいります。今後ともみなさまの繁栄のためにお役に立つ所存でございますので、変わらぬご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

## 京都中央信用金庫のプロフィール



当金庫は、京都市および京都府・滋賀県・大阪府・奈良県の一部を営業地区として、地域の中小企業や個人のみなさまの繁栄を共通理念に経営する協同組織の金融機関です。

地域のお客さまからお預かりしたご預金は、地域経済や事業の継続的な発展のために、ベンチャー企業を含む資金を必要とされているお客さまにご融資しています。また、広範な店舗網を活かして地域に密着した強いネットワークを形成し、お客さまのご要望に沿った商品・サービスを提供して、より良い暮らしのためのお手伝いをしています。さらに、国際文化観光都市京都をはじめとして地域の自然・景観・伝統文化等を守り伝えるための人材の育成や支援活動にも積極的に取り組み、金融機能だけでなく多方面から地域の発展に貢献しています。

## TOPICS

### ◆「京都中央信金アプリ」残高・取引明細照会サービス取扱開始

スマートフォンを利用した表記アプリについて、信用金庫で初めて、本人認証に顔認証を搭載した「残高・取引明細照会サービス」を開始しました。このサービスは、当金庫で普通預金のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまであればどなたでもご利用いただけ、顔認証機能搭載により第三者のなりすまし防止やID・パスワードを入力いただく手間を省くことができます。



### ◆公益財団法人 大学コンソーシアム京都より 感謝状をいただきました。

当金庫では平成10年より公益財団法人大学コンソーシアム京都から延べ42名のインターンシップ実習生を受け入れてきました。今春、長年にわたる受け入れ協力に対し感謝状をいただいたもので、今後も実習を通じ金融機関業務だけでなく地域とともに歩む信用金庫の存在意義や社会貢献姿勢について理解を深めていただきたいと考えています。



### ◆事業承継・M&Aの課題解決のサポート体制を充実！

事業承継・M&Aの専門的人材育成を目的として、「M&Aスペシャリスト資格取得支援講座および検定試験」を実施し、30名が合格しました。本資格は日本で初めて確立したM&Aに関する経営コンサルタントの資格です。また、アンドビズ株式会社が運営する小さな会社の後継ぎ探し・経営承継のためのプラットフォーム「Batonz(バトonz)」に加入しました。当金庫では事業承継・M&Aの課題に対し、人材面・体制面の両面でサポートしてまいります。

### ◆『顧客本位の業務運営』実現に向けた取り組み

多様化・高度化する中小企業のニーズに応え、ライフステージに沿ったコンサルティングを行うため、本年9月より四半期毎に5名ずつ5年間で10名の営業店融資役席を融資統轄部・地域創生部へ配置しています。これにより、職員の能力発揮やこれまで以上に本部・営業店が一体となった支援態勢を構築し、さまざまな経営課題にきめ細やかに対応することを目指しています。

## 地域社会の発展のために

### ■ 中信ビジネスフェア2018 第30回大商談会

ビジネス情報の提供、異業種交流、ビジネスマッチングを目的とするサークル「中信サクセスクラブ」では、平成元年に発足して以来、初年度より異業種商品技術展示交流会として、毎年「大商談会」を開催しています。平成17年からは、複合イベント「中信ビジネスフェア」へとグレードアップし、2日間にわたって開催しています。

平成30年度は「つながる。ひろがる。未来の可能性。」をテーマに、さまざまなノウハウを持った企業に出展・来場いただき、各種ビジネスマッチングの機会を提供するとともに、百貨店・スーパー・商社・海外企業等のバイヤーを招致し、販路開拓や売上拡大の支援にも取り組みました。毎年ご好評いただいている中信学生デザインコンテストでは「食」をテーマとした京風パッケージデザインを多数展示し、地元企業をはじめとする来場者の皆さまにご覧いただきました。また、今回初の企画として、京都ジョブパークと連携し、新卒者、若年求職者、外国人留学生と、正社員雇用に積極的な地元企業との出会いの場を提供する「合同企業説明会」を開催し、多数の企業、求職者の皆さまにご参加いただきました。フェア全体では12,000人近くの来場者で、会場は大盛況でした。



中信学生デザインコンテスト表彰



海外進出セミナー



商談マッチングブース

### ■ 地域企業の業務効率化支援に向けてfree株式会社と提携！

「スモールビジネスに携わるすべての人が創造的な活動にフォーカスできるよう」をミッションに掲げ、バックオフィス業務効率化のソリューションを提供するfree株式会社と今春、京都府内金融機関では初めて業務提携を締結しました。創業融資商品「京都中信スタートダッシュ」「スタートダッシュ・ツイン」等のご利用者に対して、同社の提供する「クラウド会計ソフトfree」の一年間無料提供を通じ地域の創業者や開業者の皆さまをサポートいたします。

### ■ IT活用で経営課題解決をサポート

特定非営利活動法人ITコーディネータ京都と、ITを活用した中小企業の経営課題解決に向けた連携を目的に秘密保持契約を今春締結しました。中小企業の日々変化するIT環境への対応やICTを活用した経営課題の解決に向けた支援を通じ、地域経済の活性化を図ることを目的に相互に協力してまいります。

## CSRへの取り組み

### ◎人材育成

#### ■(公財)中信育英会〈昭和56年より〉

当金庫創立40周年を記念して設立し、現在の奨学生は102名。これまで710名の卒業生が巣立ち、さまざまな方面で活躍しています。



#### ■ 中信杯全京都学童軟式野球選手権大会協賛〈平成元年より〉

京都府下の小学生が友情と夢を胸に、真夏のグラウンドで熱戦をくりひろげる「中信杯全京都学童軟式野球選手権大会」とともに、平成19年からは春季大会にも協賛。スポーツを通じて、明日を担う小学生の育成に協力しています。



### ◎人にやさしく

#### ■ 全店舗に福祉関連機器設置 視覚障がい者対応ATMの設置

全店舗に来客用車椅子、耳マーク表示板、簡易筆談器、振動式呼び出し器、コミュニケーションボード、助聴器、AED(自動体外式除細動器)を設置しています。また、店舗内・店舗外すべてのATMコーナーに、視覚障がいをお持ちのお客さまにもご利用いただきやすいATMを設置しており、ほかにも店舗設備のバリアフリー化(入口の段差解消、スロープ・手すりの設置)、点字ブロックの敷設や音声誘導システムの導入、歩行が困難な方が利用できる優先駐車場の設置に順次取り組んでいます。

さらに、伝票などのユニバーサルデザイン化を進めるとともにチラシ・ポスター等印刷物へはFAX番号を掲載するなど、すべての人にやさしく心が通じ合えることを目指した店舗づくりに取り組んでいます。



全店舗に設置している福祉関連機器

### ◎文化の継承

#### ■ 中信宵山狂言会〈平成元年より〉

当金庫は企業町衆として祇園祭のムードを側面から盛り上げるため、祇園祭宵山の時期にあわせて、平成元年より本店ロビーでコンサート等を開催。平成8年からは伝統芸能・狂言への理解を深めていただくために、本店ロビーで茂山一門による「中信宵山狂言会」を開催しています。平成30年は「鬼瓦おにがわら ねぎやまぶし」「禰宜山伏」を多くのお客さまにお楽しみいただきました。



#### ■(公財)中信美術奨励基金〈昭和62年より〉

当金庫預金量1兆円達成を記念して設立。京都を基盤に活動する芸術家3名に、毎年「京都美術文化賞」(賞牌と賞金200万円)を贈呈し、受賞記念展を開催。第31回の受賞者は小名木陽一氏(織)、重松あゆみ氏(陶芸)、鈴鹿芳康氏(写真造形)。受賞記念展は、京都文化博物館で平成31年1月18日~27日に開催します。



### ◎社会福祉活動

#### ■ 善意金の寄託 数々の清掃活動に参加

昭和48年より「中信チャリティーオープンゴルフ大会」を開催し、参加していただいたお客さまから寄せられた善意金を公益財団法人京都新聞社会福祉事業団に寄託しています。また、地域の環境保全・啓発活動推進の一環として、創立75周年を機に全店舗の周辺地域を清掃する「ゴミゼロの日」の取り組みを開始し、継続実施しています。「琵琶湖を美しくする運動」等、地域の清掃活動にも参加しています。



## 預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の獲得を中心とした個人の普通預金の増加に加え、法人預金も増加した結果、平成30年9月期の残高は、前年同期比1,049億円増加し、4兆6,581億円となりました。

また、貸出金については、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比1,156億円増加し、2兆6,331億円となりました。

(単位：百万円)

	平成29年9月期	平成30年9月期	増減
預金積金残高	4,553,245	4,658,160	104,915
貸出金残高	2,517,487	2,633,167	115,680

## ●貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	平成29年9月期		平成30年9月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	125,412	4.98%	127,519	4.84%
農業、林業	544	0.02%	568	0.02%
鉱業、採石業、砂利採取業	1,060	0.04%	1,238	0.04%
建設業	99,579	3.95%	105,325	3.99%
電気・ガス・熱供給・水道業	423	0.01%	599	0.02%
情報通信業	4,484	0.17%	5,222	0.19%
運輸業、郵便業	24,831	0.98%	26,052	0.98%
卸売業	76,238	3.02%	77,498	2.94%
小売業	50,119	1.99%	51,383	1.95%
金融業、保険業	83,877	3.33%	100,985	3.83%
不動産業	506,077	20.10%	542,360	20.59%
物品賃貸業	4,443	0.17%	4,392	0.16%
学術研究、専門・技術サービス業	7,873	0.31%	7,661	0.29%
宿泊業	15,176	0.60%	16,857	0.64%
飲食業	25,565	1.01%	25,513	0.96%
生活関連サービス業、娯楽業	38,210	1.51%	37,129	1.41%
教育、学習支援業	11,865	0.47%	13,703	0.52%
医療、福祉	60,173	2.39%	62,495	2.37%
その他のサービス	44,631	1.77%	47,189	1.79%
<b>小計</b>	<b>1,180,588</b>	<b>46.89%</b>	<b>1,253,697</b>	<b>47.61%</b>
地方公共団体	131,012	5.20%	155,040	5.88%
個人(住宅・消費・納税資金等)	1,205,886	47.90%	1,224,430	46.50%
<b>合計</b>	<b>2,517,487</b>	<b>100.00%</b>	<b>2,633,167</b>	<b>100.00%</b>

(注)1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

2. 国外向けの貸出については、国内向けの貸出と同様に区分し、該当する業種に含めております。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)	平成29年9月30日現在	平成30年9月30日現在	増減
現金・預け金	1,008,069	1,063,770	55,701
コールローン	1,611	583	△ 1,028
買入金銭債権	373	2,236	1,862
金銭の信託	8,058	10,995	2,936
商品有価証券	1,454	1,471	17
有価証券	1,610,765	1,655,388	44,623
貸出金	2,517,487	2,633,167	115,680
外国為替	1,125	1,765	640
その他資産	27,265	29,200	1,934
有形固定資産	52,416	52,977	560
無形固定資産	2,501	2,646	144
繰延税金資産	684	2,266	1,582
債務保証見返	7,031	5,485	△ 1,545
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 13,415 (△ 9,402)	△ 12,835 (△ 8,623)	580 (779)
資産の部合計	5,225,428	5,449,119	223,690

(単位：百万円)

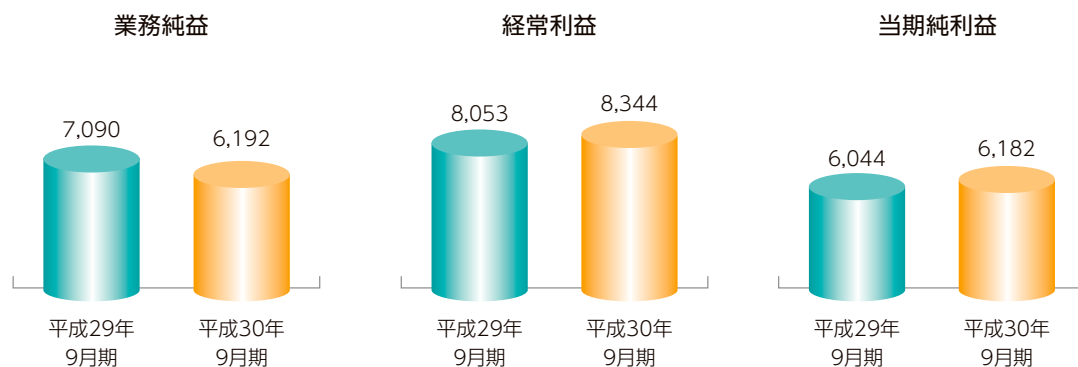
(負債の部)	平成29年9月30日現在	平成30年9月30日現在	増減
預金積金	4,553,245	4,658,160	104,915
借入金	303,000	367,200	64,200
コールマネー	55,640	37,921	△ 17,719
債券貸借取引受入担保金	-	72,305	72,305
外国為替	40	16	△ 24
その他負債	15,243	14,063	△ 1,179
賞与引当金	686	690	3
退職給付引当金	11,167	11,093	△ 73
役員退職慰労引当金	1,090	741	△ 349
預金払戻損失引当金	293	314	21
偶発損失引当金	174	252	77
懸賞金支払引当金	104	95	△ 8
再評価に係る繰延税金負債	4,853	4,853	-
債務保証	7,031	5,485	△ 1,545
負債の部合計	4,952,570	5,173,192	220,622
(純資産の部)			
出資金	20,864	20,640	△ 224
利益剰余金	219,624	228,946	9,322
会員勘定合計	240,489	249,586	9,097
その他有価証券評価差額金	24,301	18,287	△ 6,013
繰延ヘッジ損益	54	39	△ 15
土地再評価差額金	8,012	8,012	-
評価・換算差額等合計	32,368	26,339	△ 6,028
純資産の部合計	272,857	275,926	3,068
負債及び純資産の部合計	5,225,428	5,449,119	223,690

## 損益の状況

平成30年9月期の業務純益は、利回低下により貸出金利息が減少したこと等から、前年同期比8億円減少し、61億円となりました。

一方で、地元企業の業績向上により信用コストが改善したこと等から、経常利益は前年同期比2億円増加の83億円となり、当期純利益は前年同期比1億円増加し、61億円となりました。

(単位：百万円)



## 損益計算書

(単位：百万円)

	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	増減
経常収益	33,674	34,248	573
資金運用収益	26,094	26,951	856
うち貸出金利息	16,978	16,565	△ 412
うち有価証券利息配当金	6,908	7,079	170
役務取引等収益	3,242	3,245	2
その他業務収益	2,883	1,554	△ 1,328
その他経常収益	1,453	2,497	1,043
経常費用	25,620	25,903	283
資金調達費用	2,063	3,403	1,339
うち預金利息	1,638	2,695	1,057
役務取引等費用	3,205	3,286	80
その他業務費用	2,053	1,200	△ 852
経費	17,925	17,763	△ 161
その他経常費用	371	249	△ 122
経常利益	8,053	8,344	290
特別損失	36	129	93
税引前当期純利益	8,017	8,214	197
法人税、住民税及び事業税	1,933	1,508	△ 424
法人税等調整額	39	523	483
法人税等合計	1,972	2,031	58
当期純利益	6,044	6,182	138



## 有価証券の状況

### ●売買目的有価証券

(単位：百万円)

	平成29年9月期	平成30年9月期	増減
当期損益に含まれた評価差額	10	6	△ 4

### ●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	平成29年9月期			平成30年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	10,000	10,001	1	—	—	—
	地方債	5,283	5,341	58	2,867	2,879	12
	社債	17,216	17,835	619	9,805	10,244	438
	その他	26	28	1	16	16	0
	小計	32,526	33,207	680	12,689	13,140	451
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—
合計	32,526	33,207	680	12,689	13,140	451	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの 該当ありません。

### ●その他の有価証券

(単位：百万円)

	種類	平成29年9月期			平成30年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	46,736	25,220	21,516	48,200	26,987	21,212
	債券	1,019,793	1,003,456	16,337	878,476	865,718	12,758
	うち国債	292,151	287,553	4,597	224,609	221,639	2,969
	うち地方債	291,772	285,958	5,814	283,913	279,015	4,898
	うち社債	435,869	429,944	5,925	369,953	365,063	4,889
	その他	123,217	120,274	2,943	78,202	75,377	2,825
	小計	1,189,748	1,148,951	40,796	1,004,879	968,083	36,796
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	5,351	5,879	△ 528	7,784	8,641	△ 857
	債券	233,182	237,452	△ 4,270	402,105	407,681	△ 5,576
	うち国債	66,067	68,478	△ 2,410	128,409	131,558	△ 3,149
	うち地方債	52,273	53,248	△ 975	105,513	106,857	△ 1,343
	うち社債	114,840	115,724	△ 884	168,181	169,265	△ 1,083
	その他	145,541	148,107	△ 2,565	222,289	227,529	△ 5,239
	小計	384,075	391,439	△ 7,364	632,178	643,852	△ 11,673
合計	1,573,823	1,540,391	33,432	1,637,058	1,611,935	25,122	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 預り資産残高の推移

(単位：百万円)

	平成29年9月期	平成30年9月期	増減
投資信託	46,303	49,339	3,036
外貨預金(中信オープン外貨定期)	2,258	2,112	△ 146
公共債	14,095	12,516	△ 1,579
合計	62,657	63,968	1,311

- (注) 投資信託・外貨預金・公共債はそれぞれ期末の残高です。

## 貸出債権の開示

信用金庫では、金融再生法に基づく「金融再生法開示債権」と、信用金庫法に基づく「リスク管理債権」の開示が義務付けられています。金融再生法開示債権は債務保証見返など貸出金以外の債権も対象としているのに対し、リスク管理債権は貸出金のみを対象としているのが相違点です。

当金庫の金融再生法開示債権（正常債権を除く）に対する担保・保証・引当金を合わせた保全率は91.97%となっており、引き続き十分な引当水準となっています。十分な引当を行い経営の健全性を確保しつつ、地域の発展・支援に貢献することが当金庫の使命であると考えております。

### I. 平成30年9月期における自己査定と開示債権の状況(単体ベース)

(単位：億円)

自己査定					金融再生法による開示		リスク管理債権		
	総与信	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	24	5	18	-	0	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	77	破綻先債権	24
実質破綻先	53	2	30	-	20			危険債権	615
破綻懸念先	562	234	229	98		要管理債権	47	3カ月以上 延滞債権	-
要注意先	3,110	759	2,351					貸出条件 緩和債権	47
正常先	22,653	22,653				小計	688	合計	687
合計			26,403			正常債権	25,727		
						合計	26,415		

※ 上記開示額は、平成30年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しています。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業況悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しています。

※ 上半期での必要償却・引当額は、9月末時点の債権残高にて算出しています。

ただし、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分(=Ⅳ分類)を直接償却し減額して開示しています。

(Ⅳ分類・直接償却相当額は2億円です。)

※ 「金融再生法による開示」には当金庫が保証する私募債の額を含んでいます。

### II. 金融再生法による開示債権と保全の状況

(単位：億円)

区分	開示残高(A)	担保・保証による 回収見込み額(B)	平成30年9月期 引当金残高(C)	担保・保証(B)+引当金(C) =保全額(D)	保全率 (D)/(A)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	77	56	20	77	100.00%
危険債権	562	463	62	526	93.62%
要管理債権	47	26	2	28	59.65%
小計	688	546	85	632	91.97%
正常債権	25,727	20,137	39	20,177	78.43%
合計	26,415	20,684	125	20,810	78.78%

$$\text{金融再生法開示債権(正常債権を除く)保全率} = \frac{\text{保全額 } 632\text{億円}}{\text{債権額 } 688\text{億円}} = 91.97\%$$

※ 保全率は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

### III. 平成29年9月期との金融再生法開示債権比較

(単位：億円)

金融再生法による 開示残高	平成29年9月期	構成比	平成30年9月期	構成比
破産更生債権及び これらに準ずる債権	75	0.30%	77	0.29%
危険債権	567	2.24%	562	2.13%
要管理債権	41	0.16%	47	0.18%
小計	683	2.71%	688	2.60%
正常債権	24,593	97.29%	25,727	97.40%
合計	25,277	100.00%	26,415	100.00%

※ 構成比は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

## 自己資本比率の状況について〈単体〉

### ●単体自己資本比率(バーゼルⅢ国内基準)


平成30年9月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたものの、リスク・アセット等が増加したこと等から、前年同期比0.01ポイント低下の10.84%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。

(単位:百万円)

項目		平成29年9月期	平成30年9月期	増減	
コア資本に係る 基礎項目 (イ)	普通出資に係る会員勘定の額	240,489	249,586	9,097	
	うち、出資金の額	20,864	20,640	△ 224	
	うち、利益剰余金の額	219,624	228,946	9,322	
	一般貸倒引当金の額	4,013	4,212	199	
	土地再評価差額の45%相当額のうち、コア資本に係る 基礎項目の額に含まれる額	4,052	3,473	△ 578	
	(イ)	<b>248,555</b>	<b>257,272</b>	<b>8,717</b>	
コア資本に係る 調整項目 (ロ)	無形固定資産の額	1,082	1,527	444	
		(ロ)	<b>1,082</b>	<b>1,527</b>	<b>444</b>
自己資本の額 (ハ)		(イ)-(ロ)	<b>247,472</b>	<b>255,745</b>	<b>8,273</b>
リスク・アセット等 (ニ)	信用リスク・アセットの額	2,191,494	2,269,884	78,389	
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して 得た額	88,849	87,917	△ 931	
		(ニ)	<b>2,280,344</b>	<b>2,357,802</b>	<b>77,457</b>
単体自己資本比率	$\frac{(ハ)}{(ニ)}$	<b>10.85%</b>	<b>10.84%</b>	△ 0.01%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。



 **京都中央信用金庫**

**京都中央信用金庫**

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地

TEL (075) 223-2525(代) TEL 0120-201-959(フリーダイヤル 平日9:00~17:00 当金庫営業エリアのみ)

FAX 0120-201-580(フリーダイヤル)

インターネットホームページアドレス <https://www.chushin.co.jp/>

ON YOUR SIDE REPORT 表紙使用写真

ON:東福寺 YOUR:美山かやぶきの里 SIDE:三千院わらべ地藏(杉村孝 作) REPORT:嵐山

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この報告書は環境に  
配慮し、植物油インキを  
使用しています。

2018年11月